



こころ、ゆさぶる。

すみだ モダン

こころ、ゆさぶる。

すみだモダン

いまだけではない、100年先のこころよさを。

自分だけではない、より多くの人へのよろこびを。

またたしい、鮮やかな感動を求めて。

こころ、ゆさぶる。

つくる想いが、心を動かしていく。



「こころ、ゆさぶる。」すみだモダン PRムービー
<https://www.youtube.com/watch?v=jAr5wjiMqq8>

すみだモダンとは

墨田区では、東京スカイツリー®の誘致決定をきっかけに、ものづくりのまちとしての産業ブランド力を国内外に広くPRすることを目的として「すみだ地域ブランド戦略」を2009年から開始しました。

主な事業として区内の付加価値の高い商品や飲食店メニューを「すみだモダン」の名称でブランド認証し、数々のPRを行ってきました。

2021年9月からは事業全体の名称を「すみだモダン」としてリニューアルし、「商品そのもの」だけではなく、そのバックグラウンドにある事業者の「活動」も含め、新しい産業プロモーションを推進しています。

「すみだモダン」の主な活動 ACTIVITY

<p>つながる</p> <p>パートナーシップ連携</p> <p>[P.4~8]</p>	<p>つくる</p> <p>フラッグシップ商品開発</p> <p>[P.9~11]</p>	<p>つたえる</p> <p>ブランド コミュニケーション展開</p> <p>[P.12~13]</p>	<p>台湾・千葉 大学連携</p> <p>台湾・千葉大学連携</p> <p>[P.14~15]</p>
--	---	--	---

4つの理念 PHILOSOPHY

「すみだモダン」の定義は「ものづくりを通して、未来のスタンダードを創造し、人々の幸せを育む活動」です。理念は以下の4つとし、これに合致する事業者の活動を「すみだモダン」と呼称します。

<p>1</p> <p>未来への 約束を果たす</p>  <p>SUSTAINABLE 持続可能性</p>	<p>2</p> <p>知恵を集めて 新しい価値を創る</p>  <p>CO-CREATION 共創性</p>	<p>3</p> <p>粋な視点と遊び心を 大切にする</p>  <p>ORIGINALITY 独自性</p>	<p>4</p> <p>様々な人の 幸せなつながりを育む</p>  <p>DIVERSITY 多様性</p>
---	---	--	--

つながる

すみだモダンパートナーシップ連携

事業者同士、そして墨田区がつながり、ともに「ものづくりのまち すみだ」のブランドをPRしていきます。「すみだモダン」の理念の浸透を図り、「すみだモダン」の新たな創出と発掘を目指し、「すみだモダンコミュニティ運営」「すみだモダンブランド認証」という2つの事業を実施しています。

1 すみだモダンコミュニティ運営

誰でも参加できるコミュニティを運営。事業者同士のつながりを生みだし、新たな「すみだモダン」の創出を目指します。「すみだモダンコミュニティ」に登録した事業者は「すみだモダンオープンパートナー」となり、以下の特典やメリットを受けられます。

すみだモダンオープンパートナーの特典



すみだモダンコミュニティのイベントに参加できます。

ビジネスマッチングの機会創出
協働による課題の解決
複数事業者によるイベントの共同開催

※事業者間の仲介は事務局がサポート。さまざまな職種の事業者とつながることができます。講演会・交流会・勉強会等のパートナー限定イベントを開催。

公式サイト内限定ページ



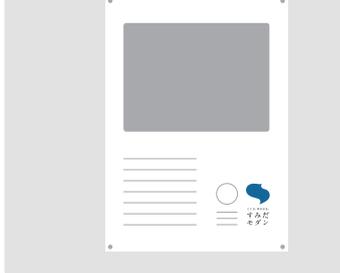
オープンパートナー限定情報にアクセスできます。

- 公式サイト内すみだモダンコミュニティページの閲覧
- メールマガジン「こころ、ゆさぶる。」通信の受信

チラシ・名刺



ポスター



すみだモダンのロゴが入ったPRツールを活用できます。

事務局で作成したチラシやポスター等の各種PRツールを使用可能。

オープンパートナーの詳細・登録方法は
こちらから公式サイトをご覧ください。



つながる

すみだモダンコミュニティ

2024年度からは「すみだモダンフラッグシップ商品開発」で指揮を執ったクリエイティブディレクターの廣田尚子氏と、地域に根差した活動をしているクリエイター集団であるすみだクリエイターズクラブの運営により開催。毎回、事業者同士の「つながり」を作るイベントを実施しており、地元の飲食店を招いて美味しいものを提供するカフェタイムも好評。



廣田尚子氏について

プロダクトデザイナー。東京藝術大学デザイン科卒業。GKプランニングアンドデザインを経てヒロタデザインスタジオ設立。製品開発だけでなく、デザイン経営視点で企業ブランディングからビジネススキームまで総合的なコンサルティングも行う。東京ビジネスデザインアワード審査委員長(2019～2020年)、グッドデザイン賞審査委員、2021年よりすみだ地域ブランド推進協議会理事兼クリエイティブディレクター。



第1回すみだモダンコミュニティ

日時：2024年6月20日午後2時～午後5時

場所：すみだ北斎美術館講座室 (MARUGEN100)

内容：新すみだモダンコミュニティの説明、すみだクリエイターズクラブの紹介
講話「ものづくりの挑戦・失敗・再起」(個人事業「そらえ」代表 齋藤靖之氏)



第2回すみだモダンコミュニティ

日時：2024年7月18日午後2時～午後5時

場所：SUMIDA INNOVATION CORE

内容：ワークショップ「クリエイターと一緒に自社を解剖して未来を描こう！」
(有限会社ヒロタデザインスタジオ代表取締役 廣田尚子氏)



第3回すみだモダンコミュニティ

日時：2024年9月26日午後2時～午後5時

場所：SUMIDA INNOVATION CORE

内容：ディスカッション「すみだをもっと盛り上げるデザイン会議」みんなの視点で地域の“近未来”を話そう！(一般社団法人墨田区観光協会事務局長 平尾伸子氏、墨田区商店街連合会事務局長 井上佳洋氏)



第4回すみだモダンコミュニティ

日時：2024年10月17日午後2時～午後5時

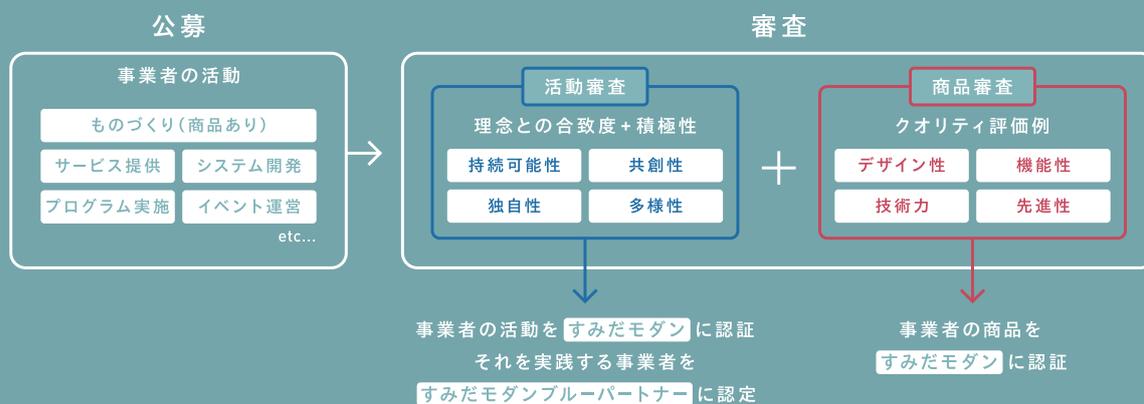
場所：SUMIDA INNOVATION CORE

内容：セミナー「SNSで広げる地域パーソンとの絆」～墨田区で起こったネット縁の事例～
(久米繊維工業株式会社取締役相談役 久米信行氏)

つながる

2 すみだモダンブランド認証

すみだモダンの理念との合致度等を基準に事業者の「活動」をブランド認証します。活動に関連する「商品」がある場合は「活動の審査」とともに「商品審査」を行います。ブランド認証を獲得した事業者は「すみだモダンブルーパートナー」となり、専用のロゴマークを使用できるほか、展示会や各種媒体等で優先的な取り扱いを受けることができます。2024年度は厳正な審査の結果、5つの「活動」と3点の商品・シリーズが認証されました。



【認証商品】御守りのようなオブジェ「人鳥願具」
ペンギン がんぐ

真鍮鋳物を扱うブランド「^{アルプラス}R Brass」の展開で砂型鋳造という技術を次世代に継承する活動

有限会社芝崎合金鋳造所



区内でも希少となった砂型鋳造の技術と製品の魅力を、真鍮鋳物を扱うブランド「R Brass」を通じて伝える活動。砂型鋳物の製造工程で使用される砂や真鍮端材は再利用が可能であり、高い循環性も有している。すみだ水族館の飼育スタッフ協

力のもと、TOTO株式会社と共同開発した“御守りのようなオブジェ「人鳥願具」を開発するなど、砂型鋳物特有のテクスチャーを生かした製品開発にも取り組み、その技術を継承している。

つながる



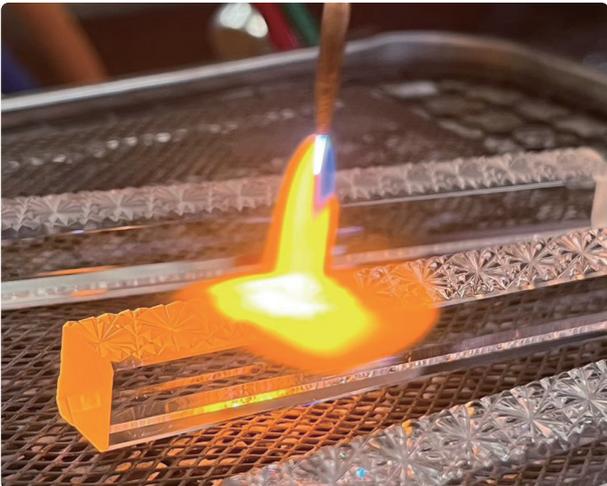
墨田区の町工場から提供された多種多様な素材を使ってこどもの主体的な遊び場「あそび大学」を展開する活動

特定非営利活動法人あそび研究会



区内の町工場から提供されるさまざまな素材を用いて、子どもが自由に遊べる環境を展開する「あそび大学」。多様な製造業が集積する墨田区の特徴を活かした取り組みであり、自主性や創造力、そして地域への愛情を育むことをめざしている。NPO

法人、大学、デザイナーが連携して生まれたこのプロジェクトには2021年のスタート以来、延べ4000名以上の子どもたちが参加。2024年には「キッズデザイン賞最優秀賞（内閣総理大臣賞）」を受賞している。



【認証商品】クラルト ガラスペン アカリ acari

実験用ガラス製品メーカーによる耐熱硝子素材の特性を活かした日用品を開発する活動

有限会社竹内製作所



理化学実験用等で使用されている耐熱硝子でフラスコや試験管等を製造してきた竹内製作所が、耐熱硝子素材の魅力と可能性を、自社開発の日用品を通じて伝える活動。ガラス本来の美しさを有し、修理可能な特性を持ったガラスペンなどの日用品

を自社ブランド「clarto」で展開している。耐熱硝子の加工を手作業で行う同社の技術は、全国的にも希少性が高い。書店等と協働した商品開発にも取り組むほか、区内事業者とも連携し、すみだの地場産業であるガラス産業の魅力を広く伝えている。

つながる



【認証商品】^みたて MITATE 金属の割り箸

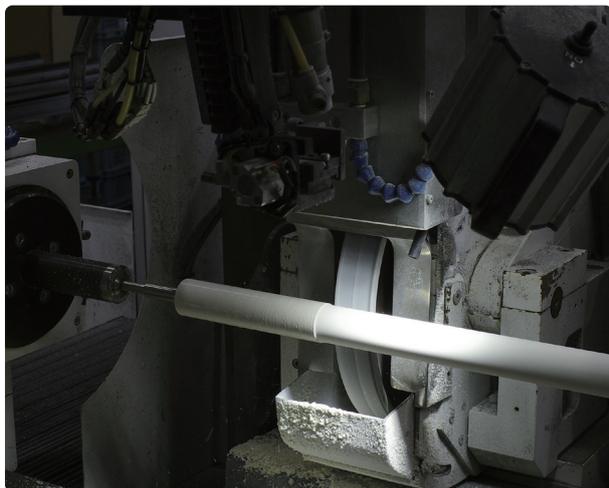
既存製品を自社の技術を通して見立て直し新たな価値を創造する活動

株式会社石井精工



古いものや使い捨てられていた物事を、自社の技術を通して新しい価値へと見立て直すブランド「MITATE」。その第一弾は“割り箸”に着目している。ゴム金型の設計・製造技術を生かした金属の嵌め合いにより、割り箸を割るときのパキッとした感覚を

再現。ユーモアも感じられる使い捨てしない割り箸を実現した。MITATEプロジェクトは他の区内事業者とも連携し、高い製造技術を応用した新たな価値を提案し続ける。



廃棄物から新たなゴム素材を開発しゴムの未来性と独自技術を Sample Book で伝える活動

東商ゴム工業株式会社



ゴムローラーを製造する際、毎月約500kg発生する研磨粉という産業廃棄物。東商ゴム工業はこの廃棄物を、独自の再生ゴム素材として開発することに成功し、引き続き開発を進めている。さらに、自由に手軽に成形できるオリジナル素材の開発など、ゴム素材の

未来を開拓していくパイオニア的存在である。創業60年における自社技術とゴム素材の魅力・可能性を伝えるためにデザイン性の高い Sample Book を製作。本社にラボカフェという交流拠点を開設するなど「ゴムのコンサルタント」として、業界の未来へと貢献している。